

“人とのつながり”を実感



にしもと よしこ
西本 佳子さん
芦屋Tioクラブ

多くの人との出会いと絆

阪神淡路大震災を被災したガレキの町で、心癒される夕焼けの写真の撮り続けてきました。震災で多くのモノを無くして気づいたのは人と人をつなぐ絆の温かさでした。

全壊した建物を再建し「集・空・間 Tio」(ティオはタイ語で楽しく遊ぶの意味)と名付け、ほっとする陽だまりのような場を作り、ボランティアグループTioクラブを立ち上げました。仲間づくりや生きがい生涯学習として震災や地域に残る民話などを語り継ぎ、ふるさと紀行や民話の映像制作や映像と音楽のコラボコンサートを行っています。現在はあしやキッズスクエア事業(※2)や福祉施設などで、おもちゃ作り・絵本劇場・音楽ボランティアの活動を行っています。地域活動を始めて多くの人に出会い学び、それまでの生活では考えられないほど、心豊かに充実した日々を過ごしています。

ボランティアを始めてみませんか?

ボランティアする人、される人がそれぞれの立場でお互いを支えあっています。自分の住んでいる町を見て聞いて話して学び、自分にできること、興味のあること、生きがいや仲間探しにまず一歩踏み出してみませんか?

そこには今までにない世界があなたを待っています。

ステキな笑顔に出会えます!

趣味や得意技能を生かせるボランティア活動にぜひともご参加ください!



あしや腹話術倶楽部が誕生しました!

腹話術は人形とおしゃべりする笑いのエンターテインメント! 見て楽しい、演じて楽しい、腹話術の技を学びます。人の笑顔で自分もハッピーな気持ちになります。笑いはストレスの緩和や脳の活性化につながります。誰でも簡単にできますので、腹話術にチャレンジしてみませんか? あなたの人生が変わりますよ! 興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

お問い合わせ先:

T: 地域で i: いきいき o: おもしろく
芦屋Tioクラブ ☎(0797)25-0177

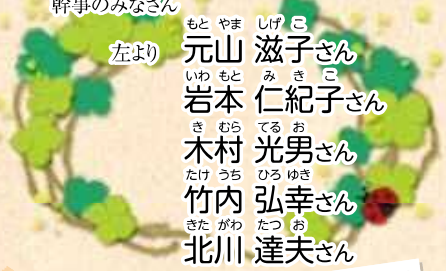


(※2)あしやキッズスクエア事業…放課後子供教室事業として、小学校を使用して、地域の方の参画を得ながら、児童が放課後や長期休業中などを安心して過ごせる居場所の提供を行う事業

地域のつながりは防災・防犯の要



打出小槌町自主防災・防犯会の幹事のみなさん



左よ
 元山 滋子さん
 岩本 仁紀子さん
 木村 光男さん
 竹内 弘幸さん
 北川 達夫さん

みんなが活躍できる活動

この会が発足したきっかけは、「打出小槌町に防災倉庫を作りたい!」という声からでした。もともと自主防災・防犯会はあったもののほとんど活動は行われていなかったため、これを機会にと、自治会役員が中心となり、防災倉庫設置の取組を始めました。チラシ配布や近所の方へ直接声かけを行うなど加入を募り、現在では約70名となりました。

加入のきっかけは元々活動を行っていた方や家族からの「やってみれば」の一言に背中を押されたという方、防災倉庫の鍵の保管を頼まれ、そこから興味を持ったという方など様々です。

常に気にかけているのは『どうしたら興味を持ってもらえるか』ということです。そのため、防災訓練では消防車や白バイにきてもらうなど、子どもに対しても防犯の意識を高めるイベントを行いました。

活動を始めてから、今まで何気なく目にしていた防犯・防災に関するニュースを意識して内容を見るようになり、天気についてもインターネットで調べることも多くなりました。また、日中は仕事があり、夜遅く帰ってくると、地域の方と言葉を交わす機会がありませんでしたが、活動に参加することで、メールを使ってやり取りをすることができ、思いもしなかった新しいつながりができました。また、会には様々な年代の方がおられるので、新しい発見があります。

世代によって活動できる時間帯はさまざまです。それぞれが活動できる時間に合わせて役割を分担し、活動を行うことで、みんなの力を合わせた防災・防犯活動を行っています。



イベントの参加から始めませんか?

地域でつながりを持つことは防災・防犯活動の効果をより高めます。つながりをもつためには地域でのイベントへの参加が効果的です! 無理のない範囲で地域の活動に参加し、地域みんなが顔見知りになればと思っています。新しい発見やつながりは生活に彩りの幅を増やしてくれます! ぜひ、イベントへご参加ください!

2016年度のテーマ <共に生きよう!>



行事予定(詳細は打出小槌町自治会の掲示板で告知いたします。)

- 7月・9月 資機材習熟会
- 8月 AEDと応急処置講習会
- 10月 打出小槌町防災訓練
- 12月 親子でパトロール
- 2月 防犯講習会
- 3月 防災探検会

○毎週土曜日夜8時より、夜回り実施中。場所は打出公園です。

●イザという時は、ご近所さんが頼りです。気兼ねなく助け合うために日頃から顔見知りになって、生き続けるための知恵と技を共有しませんか!